

里山ボランティア通信

2019年 9月号



ノダケとヒョウモンチョウ

この「里山地区」には、薪を採り炭焼きをしていた雑木林や、100年程前に植えられたスギ林があり、尾根には馬が荷を引いた里道、谷あいにはため池や棚田の跡も残っています。

みちのく公園ではこの「里山地区」を、釜房湖という仙台市の水源を涵養するかけがえのない森であると捉え、その健全化のための樹林管理を行うとともに、人と自然とのかわりが培ってきた里山の自然や文化を保全、継承し、今日に活かすことを目指しています。

9月7日(土) 猛暑：通常活動

ログハウス、ホストツリーの害虫防除、作業台補修



9月14日(土) 晴れ：通常活動

アプローチ園路の草刈り、整備



9月21日(土) 曇り：森の楽校

焚火、お花炭づくり、焼きスギプレート、冒険遊び



9月25日(土) 曇り：通常活動

焼杉用板製材、薪割、発電機防音対策



これからの活動予定

■これからの主な活動

10月5日(土)	ボランティア活動
10月12日(土)	秋のイベント
10月19日(土)	ボランティア活動
10月26日(土)	森の楽校(会員・一般)
11月2日(土)	ボランティア活動

「暑さ寒さも彼岸まで」とはよく言ったもの。お彼岸を過ぎ、すっかり秋になりました。栗のイガが落ち、ドングリが転がり、木の実が色づいています。里山は最も美しい日々を迎えます。